

第 5 回 世田谷区本庁舎等設計者審査委員会
会議録

世 田 谷 区

第5回 世田谷区本庁舎等設計者審査委員会 会議録

■開催日時：平成29年9月18日（月・祝）18時～21時15分

■開催場所：砧総合支所4階会議室

■出席委員：7名（50音順（正副委員長除く））

深尾精一委員長、青山侑副委員長、岩村和夫委員、勝又英明委員、
出口敦委員、蓑茂壽太郎委員、目黒公郎委員

■事務局他

宮崎副区長、松村庁舎整備担当部長、中村総務部長、秋山庁舎整備担当課長
窪松公共施設マネジメント推進課長、青木施設営繕第二課長、他12名

■公開・非公開の別：非公開

■議事次第

1. 開会
2. 議事
 - (1) 二次提案の審査について
 - (2) 審査報告書について
 - (3) 設計者審査委員会資料の公開について
3. 閉会

発言者	発言内容
委員長	<p>本日は、プレゼンテーション及びヒアリングお疲れ様でした。第5回本庁舎等設計者審査委員会を開催します。二次審査に入りますので、よろしくお願ひいたします。委員7名全員が出席しております。</p> <p>まず初めに、事務局から配布資料の確認をお願いします。</p>
事務局	<p>本日の配付資料についてございますが、次第の次に、資料一覧表を付けてございますので、こちらでご確認をお願いいたします。本日は資料1から6までとなっております。不足の資料はございますでしょうか。</p> <p>なお、前回、第4回審査委員会で公開することとしました資料および議事の要旨につきましては、7月7日金曜日より区ホームページで公開させていただいております。配付資料の確認につきましては、以上となります。</p>
委員長	<p>それでは次第に従いまして、二次審査に入りたいと思います。まず二次提案の経緯についての報告です。事務局、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、事務局より二次提案の経過についてご報告いたします。まず、一次審査通過者6者が決定いたしまして、その後の二次審査に関する質疑は、本日、資料1として付けさせていただいておりますが、59件ございました。こちらの二次審査の質問に対する回答においては、追加参考資料といたしまして、4つの資料を配布してございます。</p> <p>なお、質疑の回答につきましては、委員長に内容をご確認していただいた後、7月10日よりホームページにて公開をさせていただいております。また、各委員の皆様にも質疑および追加資料につきましては、ご確認をいただいております。</p> <p>次に、二次提案書の提出締切日であります8月18日までに、一次審査通過者6者すべてから二次審査に関する提案書が提出されました。8月18日付で各委員の皆様にお送りさせていただいております。また、第4回審査委員会にお諮りさせていただきました二次提案書の比較表につきましても、事務局にて二次提案書の記載内容より抽出する方法で作成しまして、委員長にご確認の後、委員の皆様のご参考資料といたしまして、こちらは9月1日付で各委員の皆様にお送りさせていただいております。</p> <p>また、8月21日から9月1日におきまして、区内の5カ所、パネル展示が2カ所、提案書の閲覧が3カ所でございますが、こちらで二次提案書の公開展示および区民意見聴取を行いまして、計680件の意見聴取用紙の提出をいただきました。その後、事務局で選択方式の項目は集計しまして、自由意見欄はそのまま転記いたしまして、参考資料として、二次審査前の9月8日付で各委員の皆様にお送りさせていただいております。こちらは、本日の資料2として添付しておりますので、ご確認をお願いいたします。</p> <p>各委員の皆様から頂きました二次提案書に関する事前質疑につきましては、委員長に確認の上、9月1日付で各応募者へ送付いたしまして、回答期限であります</p>

	<p>9月8日までに応募者6者から質疑に対する回答を受領しました。こちらにつきましても、9月8日付で各委員の皆様にお送りさせていただいております。本日の資料3として添付しておりますので、ご確認をお願いいたします。</p> <p>なお、事前質疑回答につきましては、6者中1者から提出されました回答におきまして、回答にあたり使用の認められていない、図表による記載がございましたので、委員長と相談をいたしまして、図表を除いたものを回答として取り扱うこととしましたので、ご報告させていただきます。</p> <p>続きまして、公開プレゼンテーションおよびヒアリングにつきましてご報告させていただきます。</p> <p>公開プレゼンテーションおよびヒアリングの発表順につきましては、二次提案書の提出日であります8月18日に抽選を行いまして、発表順を決定いたしました。既にご報告をしておりでございます。</p> <p>また、公開プレゼンテーションおよびヒアリングの傍聴に関する応募につきましては、9月12日の申し込み締切日までに416名からの応募がありました。定員の320名を超えたため、9月14日に抽選を行いました。抽選は、区内在住、在勤、在学者を優先として行いまして、抽選結果につきましては、9月14日付で応募者へ通知を発送いたしております。</p> <p>なお、本日の参加者でございますが、会場内に264名の方がお越しいただきました。また、ロビーでございますが、延べ110名の方にパブリックビューイングでご覧いただいております。合計で374名の方にご覧いただきましたことをご報告させていただきます。私からの説明は以上でございます。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの事務局からの説明につきまして、ご質問はございますでしょうか。</p>
委員長	<p>よろしいでしょうか。それでは、次に、これから行う二次審査について、これまでの審査委員会での確認事項を事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、事務局より二次審査におけるこれまでの審査委員会の決定事項について、ご説明いたします。これまでの議論で決定された事項は5点ございます。口頭でご報告させていただきますので、ご確認をお願いいたします。</p> <p>まず、1点目でございます。一次審査の点数は、二次審査へは繰り越さない。2点目。評価点合計の最も高い者を最優秀者、2位の者を次点者として選定する。3点目でございます。評価点合計1位の者が複数となった場合は、投票方式により順位付けを行う。4点目でございます。2位の者が複数になった場合も同様とする。そして、5点目でございます。最優秀者、次点者名および最優秀者の提案書を結果公表時に区ホームページにて公表する。以上5点でございます。</p> <p>私からの説明は以上でございます。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま事務局から説明がありましたが、ご質問やご意見はありますか。これは、既にこのように決まったということですので、確認させていただきます。</p>

	<p>ました。ありがとうございます。</p> <p>続いて、二次審査に関する意見交換を行いたいと思います。今日、ヒアリングさせていただいて、これから採点をするにあたって、事前に議論をしておいたほうがよいことがあればお願いしたいと思います。どなたからでも結構ですので、よろしくお願いします。</p>
委員	1点よろしいですか。設計者を決定した後、工事開始までどれぐらい時間があるのでしょうか。
事務局	着工は平成32年度を予定しています。
委員	設計者はすぐ決定しますよね。
事務局	設計者との契約という意味でしょうか。
委員	はい。
事務局	10月末ぐらいを予定しています。
委員	そうすると、何年あるのでしょうか。着工までは2年ですか。
事務局	2年半ぐらいです。
委員	ケヤキの移植と言っていましたから、準備の期間がある。「枯れました」では駄目なので、確認しました。
委員長	他にいかがでしょうか。
委員	区道の線形変更の提案を含めたものがあり、私も質問しましたが、その必要性を共有した上で、区役所も協力しながら進めていくということによろしいのでしょうか。
事務局	まさに今日ヒアリングでご質問いただいたとおりで、庁舎の建て替えのためという理由だけの線形変更ではなく、防災街区整備地区計画の地区防災施設としても機能を維持向上するという理由をもって、多分あのぐらいの線形変更になると、地区計画の変更も伴うと思いますので、そういった理由を持って都市計画の変更手続きを進めていくということになると思います。そのストーリーを設計者と調整しながら進めていくことになると思います。
委員	まず、今回の提案を起点にして進めていくということですね。あと、区道については、すべての提案が車両通行止めにするという提案だったと思うのですが。その点についても併せて、設計者と一緒に進めていくというスタンスと考えてよろしいですか。
事務局	歩行者・自転車道とするということについては、提案可とするということにしましたので、それを元にご提案いただいたと理解していますし、今までの調整の中で可能性が区としてもあると判断し、質疑回答したものです。
委員長	<p>ありがとうございます。他にいかがでしょうか。これから本採点をするにあたって判断上に必要なことはすべて議論を尽くしたいと思いますけれども、いかがでしょうか。何かございませんか。</p> <p>ヒアリングとしては、しっかりとできたと考えてよろしいでしょうか。反省しないといけないところがあれば、今後、区役所自体はないでしょうけども、世田谷</p>

	区はたくさん公共施設の建設もあるでしょうから、そういうことも、もし何かあれば、今後活かすことがあれば記録しておいていただきたいと思います。よろしいでしょうか。
委員	6者それぞれについて委員長以下7人の委員全員がそれぞれ質問を概ねできたと思いますので、そういう意味では、20分説明で、30分ヒアリングという時間割で、効率よくできたのではないかと思います。
委員長	ありがとうございます。あと、事務局が本当に準備をきちんとしてくださったので、台風も来ずに、無事にやることができたことは大変よかったです。もし、このぐらいの意見交換でよいということであれば、各提案の採点に入りたいと思いますが、よろしいでしょうか。
委員長	よろしいでしょうか。 それでは、各提案の採点に入りたいと思います。事務局から採点表の配布をお願いいたします。
	(事務局からの採点表配布、各委員による採点后、事務局に採点表提出)
委員長	皆様、よろしいでしょうか。全員、提出が終わりましたでしょうか。この後の採点の修正は認められませんので、よろしくお願ひしたいと思います。今、チェックをされていると思いますが、マイナスを付ける人はいないでしょうけど、評価値として0から10を超えた人がいないかどうかのチェックだけ、事務局でしていただきたいと思います。
事務局	チェックをしましたが、大丈夫です。
委員長	よろしいですか。それでは、これから事務局が集計作業をしますので、その間、休憩とさせていただきます。
	(休憩)
委員長	それでは、採点表の集計作業が終了したようですので、集計表の配布をお願いいたします。 集計結果について確認したいと思います。配布された資料をご覧くださいとともに、ご自分が評価した点数と一致しているかどうかを確認お願ひしたいと思います。
委員長	よろしいでしょうか。相違はないでしょうか。
全委員	ありません。
委員長	ありがとうございます。この集計結果につきまして、何かご質問はございますでしょうか。 この、配られた集計表を見てもいろんなことが読み取れると思います。委員の方によって、それぞれ、ご自分の思いと違う方もいらっしゃるかもしれませんが、あらかじめ決めたルールどおり、この集計表をもって二次審査の採点結果としたいと思いますが、よろしいでしょうか。異議はありませんか。
全委員	異議なし。
委員長	それでは、採点結果を踏まえまして、最優秀者および次点者を選定いたします。

	<p>前方のスクリーンに委員に配付しました集計表を映してください。</p> <p>採点の結果、評価点の合計が最も高い者は792点で、応募者名、株式会社佐藤総合計画となります。</p> <p>また、次に評価点の合計が高いのは763点で、応募者名、梓設計・坂茂建築設計共同企業体となります。</p> <p>その次が741点で、応募者名、RIA・隈研吾設計共同企業体となります。</p> <p>以下、724点、655点、643点となります。</p> <p>最優秀者、次点者の選定につきまして、ご意見はございますでしょうか。</p>
全委員	意見なし。
委員長	それでは、応募者：株式会社佐藤総合計画を最優秀者。応募者：梓設計・坂茂建築設計共同企業体を次点者として選定することにご異議ありませんか。
全委員	異議なし。
委員長	それでは繰り返します。最優秀者を株式会社佐藤総合計画、次点者を梓設計・坂茂建築設計共同企業体とします。これで二次審査を終了いたします。
委員長	皆様、採点はよろしいでしょうか。 事務局の方、採点表の回収をお願いします。 この後の採点の修正は認められませんので、よろしくをお願いします。
委員長	それでは休憩とします。どうもありがとうございました。
	(休憩)
委員長	それでは、第5回審査委員会を続けたいと思います。資料4の審査報告書の案についておよび資料5の審査報告書の書式案について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>それでは、資料4および5、審査報告書の書式案について、ご説明をさせていただきます。</p> <p>まず資料5をご覧ください。まず前回の審査委員会まではタイトルを審査講評としておりましたが、内容的には審査講評と経過を掲載することが前回の委員会で決まっております。その名称を委員長と事前に相談をさせていただきまして、「審査報告書」ということで、今回ご提案をさせていただいています。まずその名称につきまして、ご議論のほどお願いいたします。</p> <p>次にその構成につきましてご説明いたします。まず資料5をご覧ください。1ページ目をお開きください。1ページ目にプロポーザル実施と参加への謝辞、委員の皆様の名前を記載し、次のページで審査結果として最優秀者、次点者の名称を記載します。その後プロポーザルの経過としまして、プロポーザル説明書の実施から本日の二次審査までの日程を順に記載してございます。</p> <p>3ページをお開きください。3番上、審査員の皆様のお名前を記載いたしまして、4で第1回から第5回までの委員会の概要を記載しております。前回、臨時審査委員会を開催しましたので、そちらも掲載をしてございます。また、5といたしまして審査結果ということで、一次審査評価の詳細、そして、二次審査評価の詳細</p>

細を評価点とともに記載しております。

最後に総評と最優秀者、次点者を含む全提案につきまして、審査講評を記載しております。こちらのスタイルといたしまして、最初に審査経過、そして、次に審査講評の順となっております。こちらの構成につきましても、ご議論のほどお願いいたします。

次に資料 4 に掲載されております事項の順に、内容についてご説明をいたします。なお、表の右側のページ番号は、資料 5 の報告書の書式案でのページを示してございます。まず、一次審査に関しましてご説明いたします。1 番、応募者数に関しましては、審査報告書 4 ページ (4) にあるとおり、応募者数を記載すると考えております。

続きまして、2 番、応募者名に関しましては記載しないということですので、4 ページでは名前は記載してございません。そして、次の 3 番、応募者ごとの評価点の合計、4 番、実績+提案書評価の内訳に関しましては、一次審査は匿名で行いましたので、一次審査の採点結果の表、8 ページにございますが、こちらでは応募者名は匿名としまして、ただし、応募者番号と応募者名との対応表を 9 ページに掲載し、応募者ごとの一次審査の結果は分かる状態になっております。

また、8 ページの表では総合得点は記載してございますが、順位は記載していません。3、4 につきましては、実名での記載とするか、採点結果表は番号で記載しまして、別に番号と応募者名の対応表を記載するか、ご検討をお願いいたします。また、順位の記載についてもご検討をお願いいたします。

5 の各審査委員の点数は 8 ページの表にあるとおり、審査委員名は匿名で記載することとなっております。6 の一次審査通過者名は、五十音順で発表させていただいておりますので、その順番で 7 ページに記載をしてございます。そして、7 番、一次提案書に関しましては、9 月 15 日の臨時審査委員会でご決定がありましたとおり、審査報告書とは別の資料といたします。8 番の審査経過に関しましては、一次審査に関するプロセスを記載してございます。

次に、二次審査に関しまして説明いたします。12 ページから 13 ページの表をご覧ください。まず応募者ごとの評価合計点、2、テーマごとの評価点内訳に関しまして、応募者名の名称は全者、実名で記載することとなっております。3 番、各審査委員の点数は、審査委員名を匿名で記載することとなっております。委員名につきましては、一次審査の点数は二次審査に持ち越さないということから、それぞれの関連性がないような形で記載と考えておりますが、こちらの点もご議論をお願いいたします。

また、4 番、審査結果は二次審査の審査結果を記載いたしまして、事前質疑、区民意見聴取の実施などについても記載と考えておりまして、5 ページに掲載してございます。

5 番、総評、6 番、二次提案に対する構成は、委員の皆様からコメントをいただきまして、それを基に委員会としての案を考え、ご確認をいただきまして、最終

	<p>的に委員長のご確認をいただいた後、完成版としたいと考えてございます。</p> <p>7、二次提案書につきましては、こちらも9月15日の臨時審査委員会でご決定いただいたとおり、審査報告書とは別の資料といたします。</p> <p>ご議論のほどお願いいたします。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。資料5からご説明いただきましたけれども、まず今のご説明について、ご質問等ございますでしょうか。</p> <p>よろしければ審議に入りたいと思います。</p> <p>まず1点目ですけれども、資料5、名称ですが、「審査報告書」という形でよろしいでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
委員長	<p>よろしいでしょうか。それでは、名称は「審査報告書」といたします。</p> <p>そのページ構成等についてもご説明いただきましたけれども、資料4で検討していきたいと思いますが、資料4の3番と4番、報告書案の8ページ、実名での記載か、採点結果表は番号で記載し、別に番号と応募名の突き合わせを記載するかについては、事務局原案は後者になっておりますが、これについてはいかがでしょうか。このような形で、突き合わせの記載ということではよろしいでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
委員長	<p>ありがとうございました。それでは、報告書案についてはそのようにさせていただきます。</p> <p>3点目です。一次審査の採点結果の8ページの表への各提案者の順位の記載についてはいかがでしょうか。これは6者全者通過となったので、順位は特段、記載しなくてもよろしいかと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
委員長	<p>審査委員の名称表記については、どうでしょうか。事務局からは、同様の理由で関連性がないような記載ではどうかということですが、よろしいでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
委員長	<p>それではそのようにさせていただきます。それでは、今のご議論を踏まえて修正したものを審査報告書の書式とさせていただきます。審査講評については、これからの作業で完成したものをご確認いただくというプロセスになろうかと思えます。ありがとうございます。</p> <p>ここまでについてご意見、特に報告書作成の進め方等についてご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
委員長	<p>まだお手を掛けるかと思えますけど、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは最後に資料6、審査結果公表時(9月27日)に公開する資料の案について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、資料6、審査結果公表時(9月27日)に公開する資料について、ご説明をさせていただきます。まず審査結果公表時(9月27日)に公開する資料の</p>

	<p>一覧を掲載してございます。表紙1ページ目をお開きください。</p> <p>まず(1)といたしまして、今ご議論をいただきました審査報告書、そして、(2)でございます会議録、こちらは第1回から第5回設計者審査委員会および臨時審査委員会、そして、公開のヒアリング部分における会議録を公開するものと考えてございます。そして、(3)でございます。議事要旨でございます。こちらも第1回から第5回設計者審査委員会および臨時審査委員会、公開ヒアリングの部分についての議事要旨を公開したいというふうに考えてございます。</p> <p>そして、(4)でございます。こちらは区民意見聴取結果を既に本日、資料としてお出ししておりますが、こちらをホームページで公開ということで考えてございます。また、(5)でございます。事前質疑および回答、こちらは全6者からいただいております。こちらも本日、資料3ということで付けさせていただいておりますが、こちらも公開と考えております。</p> <p>そして、(6)でございますが、これまでの各審査委員会で配布をさせていただきました審査委員会の資料についても、公開と考えてございます。審査委員会資料につきましては、次ページ以降をご覧ください。第1回審査委員会から臨時審査委員会も含めまして、本日の第5回審査委員会までの資料名全てを掲載させていただいております。こちらの資料について、公開をさせていただければと考えておりますが、ご議論のほどお願いいたします。</p> <p>なお、資料の公表の欄の所に黒丸は、既に各委員会で公表とご決定をいただいたものでございまして、既に公開をしている資料でございますので、こちらはどうぞよろしくお願いいたします。資料の公開に関しまして、ご審議お願いいたします。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。ただいまのご説明につきましてご意見等ございますでしょうか。この資料6の2ページ目以降のリストは、目次のような形で公開されるのでしょうか。</p>
事務局	<p>公開の仕方としては、これら目次がまず出まして、そこからリンクを貼って各資料のページに飛ぶということを考えてございます。</p>
委員長	<p>他に意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、この資料6に記載の資料を9月27日に公開するものと、審査委員会として決めたいと思います。ありがとうございます。</p>
事務局	<p>説明漏れがございましたので、追加でご説明させていただきます。模型に関してですが、今回、これだけの模型をご提出いただきました。その模型に関しましては、各応募者の同意を前提といたしまして、各案の写真を事務局で撮る。または応募者でご用意をいただきまして、9月27日から公開するホームページでプレゼンテーションおよびヒアリングという経過の中で、写真の掲載ということではいかがか。と考えてございますが、こちらの取り扱いについてもご審議お願いしたいと思います。</p> <p>なお、掲載する期間につきましては、前回二次提案書について、年内というご決</p>

	定をいただいております。こちらの模型に関しましても、二次提案書と同等と考えまして、公開期間は年内ではいかがかと考えてございます。こちらも併せてご審議お願いいたします。
委員長	ありがとうございます。模型の写真の扱いについて、事務局からご提案がありました。これだけの模型を、かつ、6者横並びの形で作っていただきましたので、そのような提案がよろしいかと思いますがご意見いかがでしょうか。もちろん、拒否される応募者に関しては掲載されないということです。よろしいでしょうか。
全委員	異議なし。
委員長	<p>それでは、今ご説明いただいたプロセスで写真の公開を目指すということにさせていただきます。どうもありがとうございます。</p> <p>本日の議事は以上となります。改めてご意見等がおありでしたら承りたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>それでは、今日は朝10時から長時間にわたってありがとうございました。おかげさまで審査も無事、終了しまして、最優秀案、次点者を選ぶことができました。もう一度、確認しますと、最優秀者として株式会社佐藤総合計画、それから、次点者として梓・坂茂建築設計共同企業体を選ぶことができました。点数を具体的に出して、評価をしたところ、ある一定の差がついて、皆様納得がいく形で最優秀者、次点者を選ぶことができましたと思います。どうもありがとうございました。以上で委員会を閉じたいと思いますが、事務局から何かありますでしょうか。</p>
事務局	まず本日の会議録、それから、ヒアリングの内容の議事録につきましては、事務局で案を作成いたしまして、9月21日中に委員の皆様へお送りいたしますので、24日午前9時までに委員の皆様にご確認をいただきたいと思っております。その際には、メールでお送りいたします。また、審査委員会の議事要旨につきましても、この後、案を作成いたしまして、こちらに関しましては明日中に委員の皆様へお送りできたらと考えておりますので、こちらも併せてご確認をお願いいたします。これらの会議録、議事要旨、それから、本日の資料につきましては、9月27日の審査結果と併せまして公表する予定と考えておりますが、よろしいでしょうか。
全委員	異議なし。
事務局	ありがとうございます。それでは、そのような形で公表をさせていただければと思います。事務局からは以上でございます。
委員長	ありがとうございました。本日の議題は以上で全て終了となります。どうもありがとうございました。
全委員	ありがとうございました。
深尾委員長	<p>なお、今日が最後の審査委員会となりますので、閉会にあたり各委員の皆様からごあいさつをいただきたいと思っております。</p> <p>岩村委員から順にごあいさつをいただきたいと思っております。</p>

岩村委員	最後の結果について私にとっては若干意外だったのですが、アンケートの集計結果を見ると、佐藤総合計画案は皆さんに支持されているのですね。いろんなご意見あると思いますけども、今回は本当にそれぞれ特徴のあるプランが6つの形で出てきたってことが大変よかったなと思いますし、しかもそれぞれが高いレベルに達していたと思います。そういう意味で、非常に良いプロポーザルだったと思います。と同時に、いろんなことを勉強させていただきました。皆様方の質問や、ご意見もなかなか面白いなと思いながら伺っていました。それも非常に勉強にもなりましたし、総じて大変良い経験をさせていただきました。どうもご苦労さまでした。
深尾委員長	ありがとうございます。勝又委員お願いします。
勝又委員	このプロポーザルは近年、稀に見る、難しいプロポーザルであったと思います。保存か建て替えてか、建設の手順の難しさ、仮設を造るかどうか、住宅地の中での建設など多くの課題がありました。この6案を見ていると、日本の設計事務所の実力というのは、かなりすごいものがあるなというのは感じました。提案いただいた6者の皆さんには頭が下がる思いがします。以上です。
深尾委員長	ありがとうございます。出口委員お願いします。
出口委員	大変力が入った提案を6者全てからしていただき、提案者の方々に敬意を表したいと思います。また、今後、同じような課題を抱えたプロポーザルの機会も他の自治体でもあるのではないかと思うのですが、今後のモデルケースになるのではないかと考えております。建築界でも今回のプロポーザルをどのように受け止めるのかということに着目したいと考えております。ありがとうございました。
深尾委員長	ありがとうございます。目黒委員お願いします。
目黒委員	私も他の委員の方と同様で、参加させていただきまして、大変勉強になりました。どうもありがとうございました。それから、今回、佐藤総合計画が選ばれたわけですが、これは組織・人を選定したということですから、他の案のいいところを、もちろんあるレベルの制限はあるでしょうが、うまく取り込んで世田谷区にとって、よりいいものができればいいなと感じています。ありがとうございました。
深尾委員長	ありがとうございます。養茂委員お願いします。
養茂委員	私も大変貴重な機会を与えていただき、ありがとうございました。ランドスケープだけのコンペとか、建築のコンペとか何回かやったことありますけども、今回みたいに多様な意見を聞いたのは、私にとってはこの歳になって学び足しと学び直しをさせていただいた状況です。それから、思ったよりもスムーズに今回、進んだという印象を持っていて、それは準備がよくできているなという印象です。それから、時間配分と申しますか、今日も非常にそれがよくできたなというのが強い印象です。それから区への注文としては、多分、今回の事業は来庁者への不便だとか、職員

	<p>の不便というのが相当絡んでくると思うのです。ですから、別のスキームとして、不便の最小化みたいなことをどのように行うかというのを同時に検討したほうがいいというのが印象でございます。以上です。</p>
深尾委員長	<p>今のは、建て替え中の話ですか。</p>
蓑茂委員	<p>はい。</p>
深尾委員長	<p>ありがとうございます。青山副委員長お願いいたします。</p>
青山副委員長	<p>私は最初に庁舎をどうするかという勉強会があったと思うのですが、それから公開のシンポジウムをやったと思います。それから委員会をやったりして、この数年間、この問題に関わらせていただいたのですが、今回こうして設計者が決まったというところまでできたのは、いろいろな論点があるし、いろいろな課題がある中で、まさに世田谷区の自治体としての自治の力を示して、ここまで話をまとめてきたのかなと、そういうふう感慨深いところがあります。</p> <p>東京 23 区の区役所というのは、23 区の制度というのが戦後発足してから、どんどん区役所の自治権というのが拡充してきた歴史だったと思うんですけども、その 70 年の歴史の中で区役所の建て替え時期が一斉にきているということがあるんですけども、この数年間、あるいは 10 年か、20 年ぐらいでは普通、移転、新築、あるいは他の所にある建物を利用するということがあったわけですが、今回の世田谷区のように、区役所の庁舎のほとんどと、それから総合支所と区民ホールと全てを現地で事業をやりながら、継続しながら建て替えるというのはかなり困難なプロジェクトですし、ある意味、23 区で初めてのことになると思います。まだ設計者が決まった段階ですが、ようやくここまでできたので、今後も大変なプロジェクトだと思いますけれど、このように議論を重ねてきたということが活かされてうまくいくことを願っております。</p> <p>どうも大変ありがとうございました。</p>
深尾委員長	<p>どうもありがとうございました。最後に私が何か申し上げないといけないのだと思いますが、かなり大変なことを引き受けてしまったな、というのがずっと思っていたことですが、委員の皆様方のご協力でもここまですることができました。本当にありがとうございます。</p> <p>それから、事務局も本当に頑張ってくくださったと思います。これだけ見事にプロセスがしっかり準備されている委員会というのは、僕はかなり経験しておりますけれども、このようにしっかりとやられたのは例がないと思いますので、それも本当にありがとうございます。</p> <p>それから、ここにはいらっしやらないですが、6 者の方々、応募するつもりだったけれども諦めたという方も幾つか僕は耳にしておりますけれども、この 6 者の方々に感謝を申し上げたいと思います。</p> <p>先ほども何人かの方もおっしゃられたように、6 案、本当に力がこもって、かつバリエーションがあるという形の提案をいただいて、それを公開の中で審査をすることが最後にできたということは、かけがいのない財産だと思いますし、単に</p>

	<p>新築のデザインコンペを公開ですというのは例が多いと思いますけれども、建築にはいろいろな問題があるということを社会にも分かっていただく、よい機会にもなったのではないかと思います。</p> <p>そういう意味でやらせていただいて、最後はよかったと今、思っておりますので感謝申し上げたいと思います。</p> <p>これから設計が始まって、建設がまた5年に及ぶという、これからまだまだ長い期間の事業ですけれども、その間での発信、区民の方々、建築界、その他、今こういう状況で、このように進んでいます、というのをできれば、インフォボックスみたいな形で、定常的にあそこに行ってみると、こういうふうなことを考えてこうなっているという情報を発信することは、提案の中にも2者ほどありましたけれども、そういうこともぜひとも検討していただいて、この事業が完全な成功裏の終結に向けて、区としても頑張っていたきたいと思います。</p> <p>審査委員の皆さん、本当にありがとうございました。</p> <p>これで全て閉じたいと思いますが、事務局から何かありますでしょうか。</p>
宮崎副区長	<p>本当に今日は朝一番からヒアリング、そして、このような熱心にご議論いただき、ありがとうございました。この後もまだタイトなスケジュールが少し続きますけれども、恐縮でございますが、是非ともよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>区民はもとより職員にとりまして、庁舎問題というのは長年の悲願でございます。そのようなことで今回、委員会としてこのような決をいただいたことに、改めて感謝申し上げたいと思います。</p> <p>まだ我々にとってみましても、本日いろいろ温かくご意見いただいたことを教訓に頑張っていきたいと思います。</p> <p>これからもどうぞよろしくお願ひいたします。本当にありがとうございました。</p>
深尾委員長	<p>それでは、これで第5回審査委員会を閉じたいと思います。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>
全委員	<p>ありがとうございました。</p>